

ひょうご環境保全創造活動助成 活動報告書

団体名	NPO法人 はりま田舎暮らしの会		
団体の所在地	兵庫県 佐用郡 佐用町	代表者名	理事長 本田 三郎

1. 事業名	和蜂 まほろばの里 造成活動		
2. 実施期間	平成27年4月1日から平成28年3月31日		
3. 主な実施場所	兵庫県佐用郡佐用町皆田集落・大垣内集落・才金集落		
4. 活動形態	実践活動		
5. 活動内容・結果 (参加者、階層・人数等)	<p>1. 平成27年5月5日にレンゲ畑を開放して「幕山れんげまつり」を開催しました。地域活動として、地元集落自治会・地域づくり協議会との共催で実施しました。一般参加者(保育園児から後期高齢者まで)106名・NPO法人会員12名・集落スタッフ14名。計132名。 満開のレンゲ畑で寝そべったり、昔懐かしい「レンゲの花飾り」の講習会など大好評でした。</p> <p>2. 平成27年8月22日に「ひょうご環境体験館」の特別プログラムとして、ハチミツなめなめ会(採蜜体験会)を開催しました。夏休み中なので親子連れの参加者が多く、甘くて美味しい蜂蜜に歓声が上がりました。 環境館スタッフ4名・NPO法人会員3名・エコハウスサポーター2名・一般参加者20名でした。</p> <p>3. 平成28年1月10日に「ひょうご環境体験館」の特別プログラムとして、ミツバチの巣箱を作ろう! 特別プログラムを実施しました。巣箱の材料費は全額 NPO法人はりま田舎暮らしの会が負担するという形式で 重箱式巣箱を製作して、出来上がった巣箱はお持ち帰りいただきました。 環境館スタッフ4名・NPO法人会員2名・エコサポーター2名・一般参加者15名でした。</p>		
6. 成果・反響・反省点等	<p>1. れんげまつりはの目的は、レンゲの花をミツバチに提供することが、主目的です。2次効果として、地元地域活性化に貢献したいとの考えで開催しました。田舎の人たちも「レンゲ」そのものが珍しくなっていて、大変喜んでもらいました。今では、彼らもレンゲを緑肥とすることはなく、化学肥料と大量の農薬栽培稲作を行っており、環境悪化は云うまでもありません。そこで、私たちの活動として里山環境保全の観点からみれば、素晴らしいことなので、今後も持続可能な限り継続していきます。</p> <p>2. ニホンミツバチをバロメーターとして生息環境を保全・創造していくために、一人でも多くの人に、関心を持ってもらうことが重要です。ひょうご環境館の特別プログラムとして開催・継続していくことは大変有効だと思います。 参加者の意見を聞いても、蜜蜂シリーズとして、学習会・体験会・木工教室を開いて欲しいとの声を聞いております。従いまして、今後はミツバチのことなら「ひょうご環境体験館」に行こう! となるように協働してまいりたいと考えます。</p>		
7. 成果物	<ol style="list-style-type: none"> 1. ニホンミツバチの巣箱 2. れんげまつり用のぼり・旗 3. 活動テーマ「和蜂 まほろばの里」 掲示看板 <p>以上の成果物は写真を添付しました。</p>		
8. 活動写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div> <p style="text-align: center;">(ミツバチのためにレンゲを育てる) (環境体験館ミツバチの生態等について勉強)、</p>		